



2019年3月26日

株式会社リクルートライフスタイル

2019年はアートイベントが目白押し！ 人気の旅行先は、絶景アートスポットで人気の「北海道」が1位を獲得 「じゃらん アート旅で行きたい都道府県ランキング」

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が企画・編集する旅行情報誌『じゃらん』は、『じゃらんnet』ユーザーを対象に「アート旅」に関するアンケートを実施しました。ランキングの結果とともに、編集部オススメのスポット情報を紹介します。

なお、本内容は「じゃらんニュース」でも紹介しております。 <https://www.jalan.net/news/article/328721/>

「じゃらん アート旅で行きたい都道府県ランキング」発表！

雄大な自然美が圧倒的人气 絶景アート満載の「北海道」が堂々の1位に！

今年は「瀬戸内国際芸術祭2019」や「あいちトリエンナーレ2019」などのアートイベントが予定されており、各地でアートが徐々に盛り上がりを見せています。そこで、アート旅に出かけたい都道府県について聞いたところ、長期休暇の旅行先でも人気の高い北海道が、堂々の1位を獲得しました。雄大な自然を生かしたアート作品や、街中にあるアート作品などが人気です。2位の東京都は、世界のアートから最新のアートまで多種多様な作品に触れられる点が魅力です。続く3位の京都府は、和を基調としながら、現代アートを掛け合わせる面白さに注目が集まったと予想されます。

「じゃらん アート旅で行きたい都道府県 ランキング」

(n=3,705 MA)

順位	都道府県名	得票数
1	北海道	942
2	東京都	746
3	京都府	533
4	沖縄県	428
5	神奈川県	296

【アンケート調査概要】『じゃらんnet』ユーザーを対象としたインターネット調査 / 調査時期：2019年2月18日（月）～2019年2月26日（火） / 調査対象：47都道府県在住 10代～60代以上男女 / 有効回答数：3,705名（MA）

「じゃらん アート旅で行きたい都道府県ランキング」ベスト3紹介

1位 北海道

エメラルドブルーに輝く神秘的な神の子池やトマムの雲海など、四季折々の自然美が点在する北海道。札幌では、2014年から3年に一度「札幌国際芸術祭」を開催し、札幌市内の様々な場所で現代アートを展示しており、次回は2020年冬季に開催が予定されています。その他、北海道内の美術館が連携して、それぞれの施設や所蔵作品を相互に紹介する取り組みもあり、北海道全体でアートをPRしています。

●札幌芸術の森

広大な敷地内に、札幌芸術の森美術館、クラフト工房、有島武郎旧邸などがある総合文化施設。季節ごとに様々な展示が行われる他、芸術の森センターには野外の美術館を眺められるレストランや札幌芸術の森美術館にはミュージアムショップも。



●青い池

美瑛にある神秘的なスポットの青い池は、面積1,200平方メートル、深さ約2.5～5メートルほどの池。水の色は、鮮やかな青に見えるが、実は透明という不思議さも魅力。天候が良ければ、水鏡となり、より一層美しい景色が見られる。



●モエレ沼公園

「全体がひとつの彫刻作品である」をコンセプトに、2005年に開園。公園を象徴するガラスのピラミッドは、夏は青空を、冬には一面の雪原の美しさを見せ、公園の風景と一体になったかのような感覚を味わうことができる。



写真提供：モエレ沼公園

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

「じゃらん アート旅で行きたい都道府県ランキング」ベスト3紹介

2位 東京都

世界のアートが集まる東京。美術館や博物館はもちろん、アートな建物や写真映えるグルメも豊富で見どころは尽きません。近年では、最新鋭のデジタルアートが体験できる施設が続々登場し、人気を博しています。

●迎賓館赤坂離宮

ネオバロック様式でベルサイユ宮殿を模した迎賓館赤坂離宮は、正面玄関から中央階段を上った先に、華やかな大空間が広がり、アーチ型の天井はまさに見上げるアート。2016年からは通年見学ができるようになり、人気のスポットに。



出典：内閣府迎賓館ウェブサイト

●teamLab★Planets TOKYO

「Body Immersive」というコンセプトの超巨大な4つの作品空間を中心とした計7つの作品空間による「水に入るミュージアム」。巨大な作品の中に身体ごと溶け込むような、新感覚の体験型アート作品を楽しむことができる。2020年秋までの期間限定。



3位 京都府

3月17日（日）まで京都市左京区のロームシアター京都の敷地内に展示されていた現代アート「巨大なこけしバレーン」が記憶に新しい京都。国宝・重要文化財の数も多く、日本の美とアートの融合は注目度が高いです。今春、新たにユニークなアートホテルが開業するなど話題も豊富。

●高台寺

先日アンドロイド観音マインダーがお披露目されたことでも話題の高台寺。春の桜、秋の紅葉の美しさには定評があり、5月6日（月）までは、日没後のライトアップとともに、門前と本堂前枯山水庭園がプロジェクションマッピングで彩られ、幻想的な雰囲気を楽しむことができる。



●漢字ミュージアム

漢字の歴史や仕組み、特徴などを、実際に体験しながら楽しく学ぶことができる、日本初の漢字にまつわるミュージアム。常設展示に加え、ユニークな企画展示やワークショップも人気。現在は元号について学ぶことができる「元号のまめ知識」のパネル展示を実施している。

